

## <融通 及び 応用力に繋げる>

=行動をルーティン化させない=

融通 → その場に合わせた適切な処置をとること。

応用 → 相手やその場の状況に応じて変化させながら用いること

最も苦手な事の一つである事は、十分承知です!

でも……、子供たちの可能性ってやっぱりすごいです! 物事の形式化、ルーティン化は得意ですよ。

形式化やルーティン化をすることで、習慣化し覚えていく。

← 苦手な事、わかりにくいことに関しての対策法になっている!

でも! それだけでは、まだまだ可能性を伸ばしきれないんです! ここから、融通と応用の壁に突入したいです! スイッチではこんな感じで行き、その結果! 期待を裏切らないみんなの姿が出ています! コツがあります☆

この繰り返しです!

Step1 物事を覚えるまでは、形式化とルーティン化は OK!

Step2 少しずつ、言い方(伝え方)、手順などを変えていく。

効果 (指示を) 聞く力、(物事への) 意識力 などの向上へ。

初めのうちは困惑している姿もあります。 その中で、今まで考えず、流れに乗ったり、形式とルーティンに頼った「曖昧行動」「意識スイッチOFFさ」などが見えてしまうんです! だからここ(上記)が重要になってきます☆ スイッチでは、指示の出し方ひとつにも、工夫をし、社会に繋がるスキルを身に着けられるようにしています★

## <ピッキング練習>

ピッキングとは……倉庫などから指定された商品などをピックアップしていく業務(作業)の事を言います。  
「選び取る」「採集」するなどの意味があります。

スイッチでの目的と主旨……生活と社会において必要なスキルの向上。

- 物・事・言葉とそれぞれの実際の意味や行動とのマッチングが出来ているか。
- 物を探す力。
- 分からない事に対してどう対処するか。聞き方など

紙に指示された、物を準備するというだけなのですが、

\*物が何処にあるのか。(探すスキル) \*そもそも物の名前が分かっているのか。(マッチング力)

\*物の名前と実際の物とのマッチングは正しく出来ているか。(認識力) などが基本的スキルになります。

しかも、更に言うならば、物の名前と呼び方などが、一般的用語で理解をしているか。 (意外と年齢に合わず、幼児表現であったり、個人的表現での認識や理解であったりすることが多々見られます。)

ピッキングは、一般就労で多い仕事内容なので、なかなか聞きなれない言葉ではありますが、「ピッキング」のスキルは、生活と社会において必要なスキルが沢山あるので、スイッチではどんどんレベルを上げて追及して行こうと思っています☆